

府高退教通信

NO.227

発行 543-0021

大阪府天王寺区東高津町七一十一
府教育会館7F 大阪府高教内
大阪府立高等学校
退職教職員の手

TEL 06-6768-2106
FAX 06-6768-1675

参院選、改憲勢力3分の2を阻止 くらしと憲法をまもる国民的な運動を

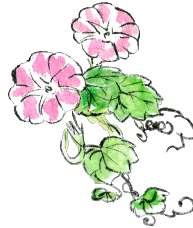
府高退教幹事長 末光章浩

今回の参議院選挙は、年金・消費税・憲法・原発・沖縄・辺野古建設など今後の国民のくらし・平和など日本の今後の道筋を決める重要な争点でたたかわれました。

結果は自公で改選過半数を維持したことを報道する内容が主流ですが、マスコミも注目した最大の争点であった改選85議席割れで崩れたことは大変重要なことです。

立憲野党の複数区での奮闘と、一人区での市民と野党の共闘による東北各県や大分・愛媛など10選挙区での勝利は、大変私たちを励ましてくれました。あらためて安倍政権下での国会発議が難しくなり、改憲に大きな歯止めをかけられたことは、今後の改憲ストップのとりくみに大きな意味を持ちます。

当面、八月一日に召集される臨時国会などを中心として安倍政権による更なる執拗な改憲策動が行われることは必至で、彼らが改憲を断念するまで一時も手を緩めることはできません。同時に消費税増税や「マクロ経済スライド」による年金削減などを許さない、国民的な大運動で安倍政権を包囲するたまたかの強化と、大阪では府民無視の改憲・カジノ・都構想での維新政治と、限りなく維新に迎合する自公の策動を打ち破る新たな府民・市民運動が求められます。



2019年度の役員と役職

<幹事>

浅海文雄 (センター附属)	荒西克招 (池田北)	飯田光徳 (守口東)
入江宏 (門真なみはや)	大島明 (大冠)	大屋弘子 (阪南)
貝谷安宏 (和泉工)	加門憲文 (久米田)	笹岡優光 (茨田)
佐々木有馬 (堺西)	佐藤美沙子 (美原)	末光章浩 (大教組本部)
高橋貞雄 (金岡)	田中繁美 (寝屋川)	辻清孝 (泉南)
連山豊 (池島)	寺西文夫 (長野)	寺東百合子 (桜塚定)
長野邦子 (南寝屋川)	永野孝徳 (城東工科)	仲森明正 (渋谷)
畠田博司 (久米田)	早川周子 (桜塚)	広瀬晃 (布施)
福谷美智子 (農芸)	筆保勝 (大和川)	松田皓平 (港)
村上国利 (本部)	森田敏彦 (成城工定)	藪田ゆきえ (布施工)
山尾邦子 (金剛)	山上俊夫 (北野定)	行成安善 (城東工)
吉崎年健 (今宮工定)		

会長	貝谷安宏				
副会長	連山豊	松田皓平	山尾邦子	山上俊夫	
幹事長	末光章浩				
会計	辻清孝				

<会計監査>

柚木健一 (牧野)	宇都宮構一 (今宮工)
-----------	-------------

このたび、高退教の幹事に加えていただくことになった荒西(克招)です。よろしくお願ひします。府高教の活動を通してよく存じ上げている方もおられますが、あらためて自己紹介させていただきます。私は、能勢高校を振り出しに、渋谷、桜塚、そして池田北高校で定年までの七年間と再任用五年間を過ごしました。勤めた学校でそれぞれにいい出会いがあり、よい経験もさせていただきましたが、その中で一番のものは池田北高校廃校反対の運動です。二〇一四年の夏、池田北高校が咲洲高校とともに廃校対象とされ、廃校に反対するPTA実行委員の皆さんと相談し、「守る会」を立ち上げ、廃校案撤回の署名・申し入れ・集会など運動に取り組みました。九月二九日、最初の署名活動の日、池田駅には五十名を超える父母、生徒、卒業生

荒西克招 (池田北)

一九七三年の秋、オイルショックの一週間前に会社員から転身して教師生活を始めました。初任校の泉陽では、二人の先輩と専門分野のディスカッションを繰り返しながら授業に臨む毎日に新鮮な充実感を味わったものでした。それから島本、芥川、三島と移り最後に大冠に勤めました。早いもので退職してもう十年になります。ところで「府高退教」に加入したのは同窓会に入るような感覚でしたが、久しぶりに出席した総会は府高教時代そのもので、かつてお世話になった先輩諸兄弟のご壮健なお姿に舌を巻きました。とても自分にはできないなあと思いつつも、しばらくの間末席を汚させていただきますのでお付き合いの程よろしくお願ひいたします。

大島明(大冠)

荒西、大島、寺西、永野さんの四人の方が、新たに幹事となりました。今回は大島さんと荒西さんの挨拶を掲載します。

最近気になっているのは、学校が益々「ブラック」になってきたことで、これでは現職の方々が若者に「教師になれよ」と勧めたくならないと思います。先輩方のような「パワフルな知性」はもう学校には集まって来ない時代になりかけているような気がしてなりません。

自分の現役生活の終盤は職員室の御用聞きのようなことをしていました。ケース以外は一定の時間に帰って貰ったものです。「事件」があれば「働かせ方改革」もしないまま言い訳に終始する当局や管理職は恥ずかしくないのか、と不思議な気分がします。

同窓会の存在意義の一つは現役の激励でしょう。気張らずにできることを探してみたいと思います。

や地域の方が、私の持つていく署名用紙・ビラ・署名板を待っていました。この日、部活動のなかつた野球部員十三名はユニホーム姿で参加してくれました。一時間三十分で六百三筆の署名を集めました。この時、「守る会」で決めた署名目標一万はできると確信しました。その後の結果は、撤回にはいたらず、残念なものになりましたが、運動にかかわった保護者や教職員、卒業生のなかに、やれるだけはやったという思いと訴えが届いた人々には圧倒的に賛同が得られ、私たちの要求は正当であり、多数派であるという確信が残りました。今は、学校の仕事からは離れていますが、大阪労働豊能地区協の事務局長を二〇〇三年から続けています。先日、第一回の幹事会に参加するため、教育会館に向かう道々、能勢高校から青年部委員会に参加したときもこのようだったかなどと思いがら歩いていました。

痛快! 「主戦場」・映画「主戦場」を見て

笹岡 優光(茨田)

先日、友人に誘われて映画「主戦場」を十三の第七芸術劇場で見た。見終わっての感想は、「痛快」の一語。久しぶりに、胸がスカッとした。色んな映画を見てきたが、中々このような気持ちを持つことはなかった。この映画に出会えて感謝。

この映画は、日系アメリカ人のミキ・デザキ監督による慰安婦問題についての映画である。この映画は、ミキ・デザキ氏が歴史修正主義者と呼ばれている人たちの「アメリカこそ歴史の主戦場だ」との主張を聞いて、なぜ彼らがそれほど熱心にアメリカ人を説得しようとしているのか、そのことにアメリカ人として興味を持ったことから製作された。

主義者たちが、映画の中で自説を滔々と述べるときに表す自慢げな表情、自信あがりげな笑み、また一瞬の戸惑いなど、まさに彼らの心の動きの裏が如実に捉えられて

アメリカ、マラウイの旅

(2011)

勝間 眞(山本)

述べる。

一月四日午後一度首都に戻り、そこからすぐに甥の勤務校のあるムセチェへ向かう。



甥の借りている住宅

マラウイに到着した日、私たち隊員家族はまず首都のジャイカ事務所に行く。そこで旅行中の注意事項を聞き、様々な現地情報を得る。そこから市内の、この国ではかなり高級なホテルに移動し1泊し、翌一月二日から各々別の行動となり、最後にまた同じホテルで合流するのである。

母屋の他に別棟として、同様の造りの台所+浴室・トイレがある。浴室と言っても水が出るわけがなく、沸かした湯と天日で温めた水を混ぜてバケツでかぶる。トイレもそのため穴が一つ空いているだけの囲いで、大なゴキブリとそれを食べるトカゲとの共生である。

第60回 府高退教囲碁大会のご案内

災害ともいわれるくらいの暑さになっています。くれぐれも健康にご留意ください。ということもあり、恒例の8月「熱い囲碁大会」を秋に延期いたしました。久しぶりの囲碁大会です。よろしくご参加ください。

記

日時：9月25日(水) 12:30受付開始 13:00対局開始
場所：上六教育会館 7F 705号室(府高教書記局前)
参加費：1000円
対局方式：ハンディ戦 コミは6目半
敗者戦あり(2敗すれば失格、その後は自由対局)
優勝、準優勝、敢闘賞、奮闘賞などの賞品があります。

申込：次のいずれかの方法でお申し込みください

- ① 9月20日(金)までに『通信』題字下の府高退教事務局宛に、氏名・段級位・退職時勤務校をご記入の上、ハガキまたはFAXで
② 府高退教(06-6768-2106)もしくは畠田の携帯電話(08040102619)にお申し込みを。
世話人 畠田博司(0725-21-5376)



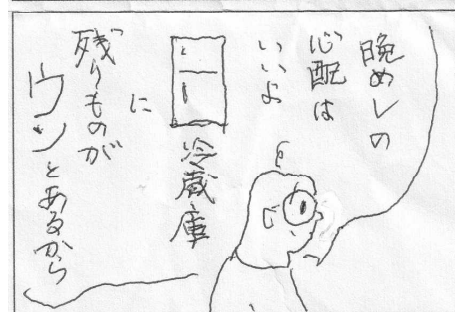
当面の日程

- 【7月】
26日(金) 15:00 第25回府高退教セミナー 705室
29日(月) 14:00 シャンソンを歌う会 ガット・ネロ
【8月】
5日(月) 13:30 謡を楽しむ会 茶白山画廊
30日(金) 13:30 大退教単位退教代表者会議

- 【9月】
2日(月) 13:30 謡を楽しむ会 茶白山画廊
13日(金) 14:00 第294回幹事会 705室
上六での三〇〇〇万署名宣伝 12:00(予定)

府高退助氏

門田向日子(布施) NO.181



25日(水) 13:00 第59回囲碁大会 705室